

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
 URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：青島 彰 副会長：仲田 廣志 幹事：大塚 博巳 副幹事：池ノ谷 敏正



【梅の花】

写真提供：鈴木舜光君

第1941回

- ソング 四つのテスト・我らが藤枝ロータリー
- ソングリーダー 江崎 晴城君



【2011-2012年度 RIテーマ】
 こころの中を見つめよう
 博愛を広げるために
 カルヤン・パネルジー

会長報告 青島 彰君

3月18日、次年度会長幹事はPETに参加されたことと思います。次年度ガバナーは甲府RCの高野孫左右衛門氏です。PETと聞くといよいよ次年度が始まるなどの感じがして懐かしく思えます。仲田、池ノ谷の両名には頑張っていたきたいと思えます。

幹事・会長と2回のPETを経験しましたが印象に残っているのは、牧田パストガバナーがよく話される「国際ロータリー会長の方針は基本ではあるがそれにこだわることはない、各クラブが特色を持った事業を行い、地域に合ったクラブ作りをするべきだ」との発言です。私は牧田パストガバナーのこの言葉を聞く度にRCの魅力とは何かと考えます。居心地の良い団体であることは間違いありませんがRCの魅力は何と問われたときに自問はしますが答えに窮する自分が齒がゆく思えてなりません。RC歴も20年になろうとしているのにうっすらと外郭だけは見えているように思いますが言葉にはできません。まだまだ修行が足りないとのことでしょうか？

幹事報告 大塚 博巳君

- 第2620地区より
4月のロータリーレートの案内がとどいております。1\$ = 82円です。
- 公益法人米山梅吉記念館より
「春季例祭賛助金入金のお願い」が届いております。

- 3月24日(土)の創立40周年記念講演会は例会扱いです。
出席をお願いします。

ダス・プロタープ君に奨学金と米山記念奨学会より記念品が贈呈されました。石垣君には米山奨学会より感謝状が授与されました。



出席報告 小西 啓一君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
38 / 44 86.36%	34 / 44 77.27%

- (1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)
 石割君 杉山君 水野君 酒井君
 杉浦君 仲田晃君

スマイルBOX 小西 啓一君

- 1年間プロタープ君がお世話になりました。先週は、卒業式があり、学業優秀・生活態度優秀で表彰されました。
石垣 善康君

スマイル累計金額168,970円

仲田 廣志君



3月18日、次年度幹事の池ノ谷君と二人で、甲府の常盤ホテルで行われた会長（幹事）エレクト研修セミナー（PETS）に参加して研修を受けてまいりました。PETSへは青島克郎年度に幹事として参加していますが、やはり、会長エレクトということで多少なりとも緊張感を覚えました。ロータリーについて、平素から特に意識をして活動していませんでしたので、基礎的な知識もない中での勉強会でした。これから、そのご報告をさせていただきますが、皆さんにすべてを正確にお伝えできないと思いますが、お許し願いたいと思います。

次年度の2620地区のガバナーは、高野孫佐工門さんです。祖父、父と三代にわたるロータリアンとのこと。年齢も52～3歳と若く、この2620地区が暖めてきた世に問う最高の若手指導者であり、当然将来は、世界的活躍して次の日本人RI会長として、ロータリーを指導する立場になるといわれている人とのこと。また次年度のRI会長は、田中作次さんであり30年降りの日本人3人目の会長ということで日本のロータリーにとっても、大変意義深い年であるとのことでした。

さて、2012～13年度のRI会長のテーマは、「奉仕を通じて平和を」です。その意味するところは、平和とは幸福感や心の平穏、静けさであり、戦争や暴力や恐れることのない状態であり、飢餓や弾圧や貧困を恐れることのない状態でもある。平和が何を意味するかは、人によって違う。自分にとり意味すること、しれが平和。どのような意味でこの言葉を使うにしても、ロータリーでそれを実現することができる。ロータリアンは、自分よりも他の人のニーズを重視する。自分のた

めだけでなく社会全体のためを考える。「超私の奉仕」という言葉は、人生で本当に大切なこと。エネルギーを注ぐべきことは何なのか、私達に教えてくれる言葉である。社会全体のためを考える行動をとることでより平和な世界の基盤を築くことができる。そういう思いをこめたRI会長のテーマ「奉仕を通じて平和を」です。このRI会長テーマを基に、2012～13年度の地区運営方針は、「クラブは自ら活性し、お互いのつながりを実感しながらロータリーを進展させよう」です。

高野ガバナーエレクトからは、RI会長テーマの展開には、各クラブの活動の積み重ねが不可欠である。また、地区（ガバナー）の責務は、各クラブの展開を支援しロータリーの進展を図ることにある。地区におけるロータリー価値観の不易流行を確認し、戦略計画を下敷きとした活動を目指す1年としたとのお話でした。そうした運営方針を具現化すべき地区目標としていくつかの方針を掲げられました。

活動基盤の強化（例会の充実＝会員の維持、純増1名）

ロータリー財団寄付（1人/100ドル/年、ベネファクター各クラブ1名）

ロータリー財団「未来の夢計画」策定着手
平和フォーラム登録参加（広島「世界平和フォーラム」2013/5.17～18）

RI会長賞への挑戦等諸々

以上PETS報告とさせていただきます。

池ノ谷 敏正君



去る3月18日、山梨県甲府市の常盤ホテルにて開催されたPETSに参加してきました。

PETSは、正式名称を「会長エレクト研修セミナー」と聞き、会長幹事ではなく本来は会長となる方々の勉強の場である、という事を初めて知りました。だからと云って、幹事はボーッとしていればいい

というわけもなく、これからパートナーシップを組む会長が、ガバナーエレクトのどのような意向に沿いながら会を運営していくのかを、会長と共に学ぶ場として機会を与えられていたのです。



高野孫左エ門ガバナーエレクトは、名前のイメージとは違い年齢も若く、ハキハキとして、若きリーダー的なイメージを漂わせていました。

ガバナーエレクトから色々なお話がありましたが、私が特に印象に残ったのは、ロータリーの広報並びに活動・連絡のIT化に力を入れようとしている所でした。

対外広報活動としては、facebookにロータリーのページを立ち上げたこと。また、IT化については、RI等からガバナー事務所への連絡はすべてメールで行なわれていること。そして地区のホームページの充実を図り、各委員会の資料等をアップして、ウェブ上から情報提供を試みている、との話もありました。

次年度は、広報IT部門の活動が、活発化してきそうです。

ともあれ、ガバナーエレクトの話を聞いていくに従い、次期幹事という自分の置かれた立場と、その仕事の重大さをひしひしと感じずにはいられなかったPETSでした。